

令和4年度 須田小学校だより 令和4年6月7日(火)

須田小学校は、今年度創立150周年を迎えます。



# 須田っ子 第6号

学校教育目標「進んで心やからだをすこやかにする子」SA・SU・GA・DA

## 対話

校長

「いい2日間を過ごしましょう」

5年生が、6月2日(木)～3日(金)に胎内市の新潟県少年自然の家で、1泊2日の自然教室に行ってきました。今年度は、予定どおり、野外炊さんもオリエンテーリングも、キャンプファイヤーもカヌーも実施できました。事前に6年生がてるてる坊主を作っていました、それが効いたようです。

「いい」とは、上手くいったことだけを指すわけではありません。この2日間が自分にとって、学習の機会になれば、失敗しても、「いい2日間」を過ごしたことになります。

「いつもとは違う環境の中でも問題なく生活することができた」、「どうすればいいかわからない場面でも友達と相談しながら活動を進められた」、「疲れて片付けなどが面倒だったけど、最後までやり切れた」などもその逆も。

いい2日間を過ごした5年生。家ではどんな土産話をしたのでしょうか。





- ・野外炊さんでカレーを作りました。自分がかまど係なので、火をつけて、ご飯とカレーを煮ました。
- ・カレー作りでは、お米をといだり、野菜を切ったり、皮をむいたりしました。できあがったカレーはおいしかったです。
- ・カレー作りでは、火の調節が難しかったけど、班のみんなとまきの置き方に気を付けたり、火加減に気を付けたりして、おいしいカレーを作れたのでよかったです。
- ・オリエンテーリングで、より良いコースでいい得点をたたき出せ、地図もしっかり理解できてよかったです。
- ・オリエンテーリングで、時間ぎりぎり心配だったけど、最後1位をとれてよかった。
- ・キャンプファイヤーは、マイムマイムやレクで練習の成果を出せたし、ファイヤーもすごくよかったので、楽しかったです。
- ・キャンプファイヤーの片付けで、二人で丸太を運びました。営火場から遠かったけど、全部持って行ってよかったです。
- ・カヌーで落ちるかと思ったけど、ゆれたりするだけで落ちなくてよかったです。
- ・カヌー体験で少し雨と風が吹いてきたけど、コツもつかんで楽しくできました。
- ・カヌー体験をしました。最初はパドルの扱い方や遠くに行ったときに困りました。だけど、だんだん慣れてきました。
- ・カヌーをしました。最初は緊張していたけど、やってみたら楽しかったです。
- ・朝はちゃんと起きることができたし、カヌーは怖かったけど、頑張れてよかったです。部屋の掃除も頑張れてよかったです。
- ・カヌー体験をしました。最初は少し川が嫌だったけど、だんだんやっていくうちに慣れてきました。
- ・カレー作りやキャンプファイヤーなど、この二日間、仲間と協力して過ごすことができたので、よかったです。

## 「花いっぱい運動」 「一人一鉢運動」



### 5/25 (水) 1年生 須田保育園であいさつ運動



1年生が、須田保育園であいさつ運動をしました。ちょっぴり恥ずかしそうにしながらも、やって来た園児にあいさつをしていました。

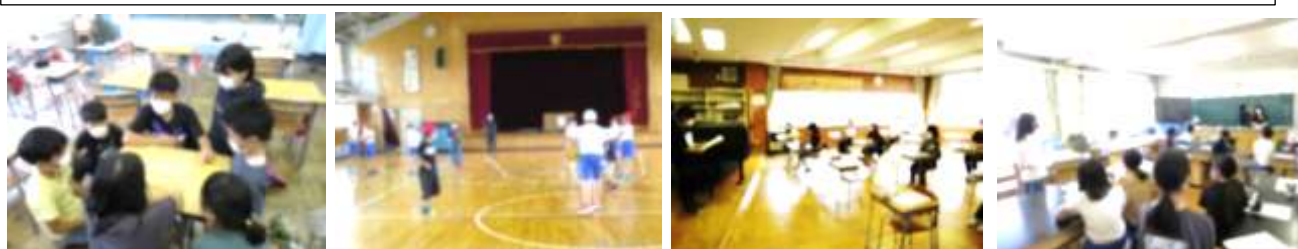
### 3年生 地域探検

3年生が、社会科の学習で、須田地区の探検をしています。鶉森、砂押新田、前須田、後須田、五反田などの探検を5/26と6/2にしました。いろいろな発見があったようです。



### 4, 5, 6年生 クラブ活動開始

今年度のクラブ活動が5/31から始まりました。今年度は、「スポーツクラブ」、「将棋・オセロクラブ」、「音楽・ダンスクラブ」、「理科クラブ」の4つのクラブで活動します。



## 5/30(月) 救急法講習会

水泳授業の前に、加茂地域消防本部の方を講師に、職員で救急法講習会を実施しました。2011年9月、さいたま市の小学校で6年生が駅伝の課外練習中に倒れ、死亡するという事故がありました。検証の結果、児童が倒れた直後に「けいれん」や死戦期呼吸と呼ばれる「ゆっくりとあえぐような呼吸」があったために、教師らは心臓が止まっているとは思わずに、校内にあったAEDを使わなかったことが分かりました。

この事故の反省をふまえ、さいたま市教育委員会はご遺族と共に、「体育活動時等における事故対応テキスト：ASUKAモデル」を作成しました。

この事故は、決して他人事ではなく、どこでも起こりうることです。

このテキストで強調されているポイントは、反応の確認、呼吸の確認など心停止の判断をする際に、「判断ができなかったり、迷ったりしたら、胸骨圧迫とAEDの使用に進む」ということです。心停止への対応は、時間との勝負ですので、無駄な移動などはせず、「現場で」迅速に救命処置を開始する必要があります。そのために、心肺蘇生講習を充実させることや教師が携帯電話を携帯することなど、日々の危機管理体制の構築も求めています。

この講習が毎年活かされないことが一番ですが、須田小学校では、いざという時に、AEDを迷わず使えるように、毎年講習会を実施しています。



### No side(5月の全校集会の話)

運動会では、「全力」が出せたでしょうか? 「No side」という言葉を知っていますか?

1 ラグビーで、試合終了のこと。

2 (比喩的に) 戦いや争いが終わったのち、互いの健闘をたたえ合うこと。

競技スポーツでは、勝つために、いろいろな作戦を立てます。ときには、相手の弱点を攻めることもあります。鬼ごっこの鬼が、一人の人を捕まえようとして、みんなでその一人を追い掛ける。はさんで捕まえようとする。これも勝つための立派な作戦です。10人で鬼ごっこをする場合、たいてい鬼は2~3人くらいにしますね。鬼が8人で逃げが2人ということはしないと思います。つまり、少ない人数の鬼が何とか捕まえようとするための作戦なのです。

「自分がされて嫌なことは人にもしない」

大切なことですね。しかし、スポーツの世界では、勝つためにそういうことをすることもあります。だから、スポーツの最初と最後にはしっかりと挨拶をします。

最初の挨拶は、「Are you ready?」ですね。これから勝つために、わたしは全力を尽くします。準備はいいですかの挨拶です。

では、最後の挨拶はどうでしょうか? 「No side」なのです。

お互い全力で頑張ったね。ここからは、「自分がされて嫌なことは人にもしない」に戻るよという挨拶です。

運動会では、白組も赤組も頑張りました。だから、白は白を、赤は赤を、一生懸命応援したと思います。しかし、颯太さんの閉会の言葉で、運動会は終了となりました。いつまでも勝敗を引きずっていませんか?

これからも、競い合う場面は多いと思いますが、「Are you ready?」と「No side」をはっきりとさせて、やるときはやる。元に戻るときは元に戻る。いつまでも引きずらないようにしましょう。